

AOSSA 子ども家庭センター・子育て支援室・相談室(平成24年度)

URL <http://www.fukui-kosodate.jp/>

子ども家庭センター・子育て支援室・相談室 副室長 青 井 利 哉

平成24年度子ども家庭センター・子育て支援室・子育て相談室は、平成29年度までの業務について、福井市と再契約を結んだ最初の年となった。平成24年度から安井弘二室長を新たに迎え、センターの更なる飛躍に向けた取り組みが始まった。管理業務体制の強化を図るため、子育て支援室事業責任者および相談室事業責任者をそれぞれ任命した。職員一人ひとりに対して、個人の特性に応じた役割をもってもらい、どの職員もやりがいをもって仕事ができるよう努めた。

平成24年度の特徴的な事業として、子育て支援ボランティアフォローアップ研修会の開催がある。今回は、センター基本事業とともに、この点についても報告する。

1. 平成24年度子育て支援室の実績

1) 子育て支援室利用数の推移

表1は、子育て支援室の利用数である。総延べ利用数とは、子どもの利用延べ人数と、その保護者の利用延べ人数を合算したものである。平成24年度は、センター開所以来最も利用者が多かった。地域におけるセンターの認知が、さらに進んだ結果ではないだろうか。

表1. 子育て支援室の利用数の推移

	子どもの 延べ利用数(人)	総延べ 利用数(人)	世帯数(世帯)
H23年度	7,491	14,431	1,464
H24年度	9,237	17,641	1,507

2) 子育て支援室の子育て講座開催状況

表2は、子育て支援室が企画した子育て講座の開催状況である。子育て講座は、主に子育てマイスターに依頼しながら、毎年多彩な企画を行っている。特に人気の講座は、楽器を使った「ミュージックケア」、イルカやシャ

チの大型風船を使った「ムーブメント」、オイルを使った「ベビーマッサージ」などであった。

表2. 子育て講座の開催回数と参加人数

	開催回数(回)	参加人数(人)
H23年度	37	1,426
H24年度	47	1,772

子育て講座の様子



ミュージックケア



ムーブメント

3) 子育て支援ボランティアフォローアップ研修会（新規事業）

センターでは、地域の子育て力向上を目的として、子育て支援ボランティア養成講座を開講している。仁愛女子短期大学の先生方にも協力をしていただき、平成24年度で第7回目を迎えている。現在までに受講生は75名になり、30名の方が実際に子育てボランティアとして活躍している。

しかし、活動中の子育て支援ボランティアから、自分自身の活動の振り返りや、他のボランティアと活動の共有が難しく、孤独になりがちであるとの意見が寄せられた。その課題に対応するために平成24年度より子育て支援ボランティアフォローアップ研修会を開催した。参加者は10名であった。講師に、地域で子育て支援に積極的に取り組んでいる主任児童委員の坪川祥子氏をお招きし、「地域ではぐくむ子育て支援」の題目で実践報告をしていただいた。その後参加者は自由に自分たちの活動報告を行い、困っている問題や、チャレンジしたい活動など具体的に語られた。

2. 平成24年度相談室の実績

表3は、子育て相談室の相談数の推移である。表中のカッコ内は、専門相談合計における内訳を示した。平成24年度は、精神科医による専門相談を開設しなかった。また、女性相談の件数が多かったことが特徴的であった。



フォローアップ研修会の様子

3. 平成25年度の事業展開

子育て支援室は、地域支援活動を行うことである。地域で子育て支援に携わる支援者と、より密接な連携をとりながら、子育て親子の「つなげる支援」や「子育てグループの形成」を行う予定である。

子育て相談室は、子ども虐待の早期発見や、早期対応を目的として、公立保育所の巡回相談を行っていく予定である。その基本的資料作成のために、子ども虐待に関するアンケートを公立保育士や子育て親に調査した。調査結果をもとに、巡回相談の具体的方法を提案していく予定である。

表3. 子育て相談室の相談実績件数

単位(件)

	子ども相談	女性相談	ママダイヤル	小 計	専門相談計	(小児科)	(精神科)	(弁護士)	総合計
H23 年度	985	858	1,010	2,853	159	(84)	(8)	(67)	3,012
H24 年度	997	1,040	786	2,823	197	(129)	—	(68)	3,020